

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 2 年 7 月 16 日 (2020.7.16)

【公開番号】特開 2018-117814 (P2018-117814A)  
 【公開日】平成 30 年 8 月 2 日 (2018.8.2)  
 【年通号数】公開・登録公報 2018-029  
 【出願番号】特願 2017-10841 (P2017-10841)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 28 日 (2020.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
最初の段階から特定段階までの複数の段階にわたって表示態様を変化可能な所定表示を  
行う所定表示手段と、

前記所定表示の表示態様を或る段階から他の段階に変化させる変化契機において変化演  
出を実行可能であり、前記所定表示の表示態様を最初の段階から特定段階まで変化させる  
所定期間において、前記変化演出を複数回実行可能な変化演出実行手段と、

複数回実行され得る前記変化演出の各々について、該変化演出が実行される前に特定演  
出を実行可能な特定演出実行手段と、

前記変化演出が実行されたことを報知する報知演出を実行可能な報知演出実行手段と、  
前記有利状態に制御されることを示唆する特別演出を実行可能な特別演出実行手段と、  
 を備え、

前記変化演出の実行とともに可動体を動作させる可動体動作演出を実行可能であり、  
前記変化演出実行手段は、

前記変化演出を実行したときに、前記所定表示の表示態様を或る段階から第 1 数の段  
階変化させる第 1 制御と、前記所定表示の表示態様を或る段階から前記第 1 数よりも大き  
い第 2 数の段階変化させる第 2 制御と、を実行可能であり、

前記変化演出が実行される前に前記特定演出が実行されたときに、前記特定演出が実  
行されなかったときよりも高い割合で前記第 2 制御を実行し、

前記特定演出の演出期間が第 1 期間であるときと該第 1 期間と異なる第 2 期間である  
ときとで、前記第 1 制御と前記第 2 制御とのいずれが実行されるかの割合が異なり、

前記報知演出実行手段は、前記第 1 制御に対応する第 1 態様の報知演出と、前記第 2 制  
御に対応する第 2 態様の報知演出と、を実行可能であり、

前記特別演出実行手段は、

第 1 特別演出と、該第 1 特別演出よりも前記有利状態に制御される期待度が高い第 2  
特別演出と、を実行可能であり、

前記所定表示の表示態様が前記特定段階まで変化しなかったときに前記第 1 特別演出  
を実行し、前記所定表示の表示態様が前記特定段階まで変化したときに前記第 2 特別演出  
を実行する、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

(Ａ)上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、最初の段階から特定段階までの複数の段階にわたって表示態様を変化可能な所定表示を行う所定表示手段と、前記所定表示の表示態様を或る段階から他の段階に変化させる変化契機において変化演出を実行可能であり、前記所定表示の表示態様を最初の段階から特定段階まで変化させる所定期間において、前記変化演出を複数回実行可能な変化演出実行手段と、複数回実行され得る前記変化演出の各々について、該変化演出が実行される前に特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、前記変化演出が実行されたことを報知する報知演出を実行可能な報知演出実行手段と、前記有利状態に制御されることを示唆する特別演出を実行可能な特別演出実行手段と、を備え、前記変化演出の実行とともに可動体を動作させる可動体動作演出を実行可能であり、前記変化演出実行手段は、前記変化演出を実行したときに、前記所定表示の表示態様を或る段階から第１数の段階変化させる第１制御と、前記所定表示の表示態様を或る段階から前記第１数よりも大きい第２数の段階変化させる第２制御と、を実行可能であり、前記変化演出が実行される前に前記特定演出が実行されたときに、前記特定演出が実行されなかったときよりも高い割合で前記第２制御を実行し、前記特定演出の演出期間が第１期間であるときと該第１期間と異なる第２期間であるときとで、前記第１制御と前記第２制御とのいずれが実行されるかの割合が異なり、前記報知演出実行手段は、前記第１制御に対応する第１態様の報知演出と、前記第２制御に対応する第２態様の報知演出と、を実行可能であり、前記特別演出実行手段は、第１特別演出と、該第１特別演出よりも前記有利状態に制御される期待度が高い第２特別演出と、を実行可能であり、前記所定表示の表示態様が前記特定段階まで変化しなかったときに前記第１特別演出を実行し、前記所定表示の表示態様が前記特定段階まで変化したときに前記第２特別演出を実行する、ことを特徴とする。

(１)上記目的を達成するため、他の態様に係る遊技機は、遊技を行うための遊技機（例えば、パチンコ遊技機１等）であって、特定演出を実行可能な特定演出実行手段（例えば、メーター変化報知態様での予告演出を実行可能な演出制御用ＣＰＵ１２０等）と、所定表示の表示態様を特定の段階まで変化させ得る変化演出を実行可能な変化演出実行手段（例えば、メーターＭＴの表示態様をメーターの上限値（レベル４（ＭＡＸ））へ向かって変化させる演出や、メーターの表示態様をメーターの下限值（レベル０）へ向かって変化させる演出や、アイテムの種類や数を変化させる演出や、キャラクタの大きさや色、人数等を変化させる演出や、数字が増えたり減ったりする演出等を実行可能な演出制御用ＣＰＵ１２０等）とを備え、前記変化演出実行手段は、前記変化演出を実行するよりも前に前記特定演出が実行された場合と実行されなかった場合とで、前記変化演出において所定表示の表示態様を変化させるときの態様を異ならせる（例えば、スーパーリーチ演出中のメーター演出を実行するよりも前にメーター変化報知態様での予告演出が実行された場合と実行されなかった場合とで、スーパーリーチ演出中のメーター演出においてメーターＭＴの表示態様を変化させるときのメーターの変化量や、所定のエフェクトとして表示される小判の量を異ならせること等）ことを特徴とする。